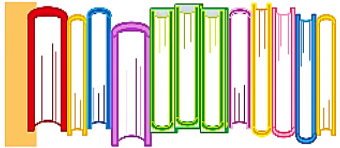




おはなし給食だよ!

令和6年(2024年)3月
第一学校給食共同調理場



本の中に登場する料理を

給食で提供します。

「ゆけゆけ!あずきひめ ~ちやごま殿下と二頭の竜~」より

3/15(金) 赤飯

赤飯は全国的に、おめでたい日やお祝いの日^ひに食べられています。昔^{むかし}から、赤い食べ物^{あか た もの}は邪気^{じゃき}(悪いもの)を払い、災い^{わざわい}を避ける力^さがあると考^{かんが}えられていました。それにちなみ、卒業^{そつぎょう}と進学^{しんがく}、進級^{しんきゅう}を祝^{いわ}って学校給食^{がっこうきゅうしょく}でも赤飯^{せきはん}を出^だしています。

あずきは「あずきの あんちゃん ずんちゃん きんちゃん」(とみなが まい作・植垣 歩子絵/福音館書店)、「あずきまる」(早川 純子作絵/農山漁村文化協会)、「あずきがゆばあさんとら」(パク・ユンギョ作 ペク・ヒナ絵 かみやにじ訳/偕成社)など、いろいろな本^{ほん}にもでてきます。

「ゆけゆけ!あずきひめ



~ちやごま殿下と二頭の竜~

あずきまる なお美 作・絵 ポプラ社



~どんなおはなし?~

お赤飯^{せきはん}をみんな^{ちから}で力^あを合^たわせて炊^たいたけれど...ごましおがなければ、お赤飯^{せきはん}は完成^{かんせい}しません。あずきひめとカエルじいは、ごま^{もと}を求^{とく}めて、ごま^{とくさん}が特産品^{ひん}のうごま^くの国^{くに}へ。しかし待^まっていたのは、意地悪^{いじわる}なちやごま殿下^{でんか}と二頭の竜^{りゅう}でした。みんな^{せきはん}でおいしいお赤飯^たを食べ^たることができるのか...

いろいろなハレの日の料理

卒業式^{そつぎょうしき}などのお祝^{いわ}いの行事^{ぎょうじ}や、お祭^{まつ}りなど特別な日^{とくべつ ひ}を“ハレの日”^ひといます。ハレの日^ひに食^たべる料理^{りょうり}を一部紹介^{いちぶしょうかい}します。

餅(もち)

《お餅^{もち}を使ったハレの日^ひの料理^{りょうり}》

・鏡餅^{かがみもち}、お雑煮^{ぞうじ}(お正月^{しょうがつ}) ・菱餅^{ひしもち}(ひなまつり) ・かしわもち(こどもの日^ひ) など
餅^{もち}には稲^{いね}の霊^{れい}が宿^{とど}り、餅^{もち}を食^たべる人^{ひと}にはその力^{ちから}が与^{あた}えられるとされていました。お正月^{しょうがつ}の餅^{もち}つきや鏡餅^{かがみもち}をかざる文化^{ぶんか}のもとになっています。



鯛(たい)

《鯛^{たい}を使ったハレの日^ひの料理^{りょうり}》

・睨^{にら}み鯛^{たい}(お正月^{しょうがつ}) ・お食^くい初^ぞめ(百日祝^{ひゃくにちいわ}) など
鯛^{たい}は、“めでたい”という意味^{いみ}と、あずき^{あず}と同じ^{おな}ように鮮^{あざ}やかな赤^{あか}の色^{いろ}合い^あが悪いものを寄^よせ付^つけないとされていました。

